

ワイヤレス・ルームサーモコントローラー
取扱説明書



OPERATION AND
INSTALLATION MANUAL

Room Control Radio TOUCH
wireless room panel
for heating circuit controllers



1. 安全上の注意

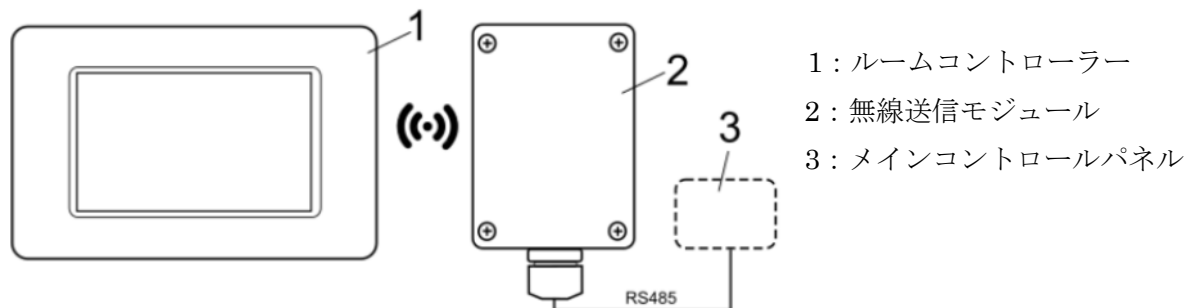


以下の要件を遵守して下さい。

- 装置は乾燥した場所に保管して屋内に設置し本来の目的以外に使用しないで下さい。
- 無線モジュールを接続する際はコントローラーの電源が切って作業して下さい。
- バーナーのコントローラーとルームサーモコントローラーの接続を間違えるとお互いの機器に損傷を与える場合や誤作動の場合がありますのでご注意下さい。
- 装置は取扱いを熟知した者のみ操作して下さい。
- いかなる場合も改造は認められていません。

2. 一般情報

ルームコントローラーは、メインコントローラーに配線された外部無線送信モジュールと無線で連携するように設計されています。ルームコントローラーは、選択した部屋にインストールされます。メインコントローラーに接続されたモジュールに無線信号を送信することで、設定された室温を維持するように設計されています。実装された暗号化された双方向無線通信により、メインコントローラーからルームコントローラーへの情報の送信が可能になるため、ルームコントローラー自体がメインコントローラーのすべてのパラメーターを処理するための追加画面として機能します。



ワイヤレスルームコントローラーは一般家庭及び工場などの環境でも使用可能です。

3. シンボルマークについて

下記のシンボルとマークは取扱説明書の中で次の様に使われます。



関連した情報と秘訣



人や動物に損害や生命の危険に関連する重要な情報

注意：これらのシングルマークによって不可欠な情報を記述しておりますが、マークで示される以外の推奨事項も守る必要があります。

適用される規格 **WE E 2002/96/E G 電気と電子機器議案**



包装と本体は使用しなくなった時、適切なりサイクル業者にて処理して下さい。一般のごみと一緒に廃棄することは出来ません。また燃やす事は出来ません。各自治体に従って下さい。

4. 内容に関する情報

本説明書はメインコントロールパネルの説明を補足したものです。メインコントロールパネルの取扱説明書も良く読んで下さい。指示に従わない事による損害については一切保証いたしません。
ルームパネル

5. 取扱説明書の保管

本取扱説明書はいつでも確認出来るように大事に保管して下さい。また製品を譲渡する場合は本取扱説明書も一緒に新しいユーザーへお渡し下さい。

6. 適合宣言

この製品は、無線機器の市場での入手に関する加盟国の法律の調和に関する欧州議会および2014年4月16日の理事会の指令 2014/53/EU の要件を満たしており、有害な干渉を引き起こしません。製品がこのマニュアルの要件に従って正しく設置され、使用されている場合に限り、住宅地で他の機器と無線通信を行うことはできません。

6. 指令 WEEE2012/19/UE

購入した製品は最高品質の素材で設計され、作られています。

この製品は、廃電気電子機器 (WEEE) に関する 2012 年 7 月 4 日の指令 2012/19/EU の要件を満たしており、それに応じて取り消し線の記号が付いています。車輪付きゴミ箱 (以下のようなもの)。製品が分別収集されることを意味します。

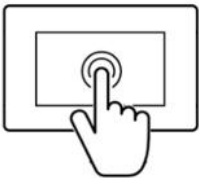


包装と本体は使用しなくなった時、適切なリサイクル業者にて処理して下さい。一般のごみと一緒に廃棄することは出来ません。また燃やす事は出来ません。各自治体に従って下さい。

8. ワイヤレスルームパネルの補足


8. 1 ワイヤレスルームパネルの操作

コントローラーはスクリーンのタッチ操作で出来ます。




メニューから各シンボルマークを押して下さい。

シンボルマークは以下の通りです。


 : メインメニューの選択


— / + : パラメーター値のアップ、ダウンが出来ます。

∨ / ^ : パラメーターリストを上下にスクロール出来ます。

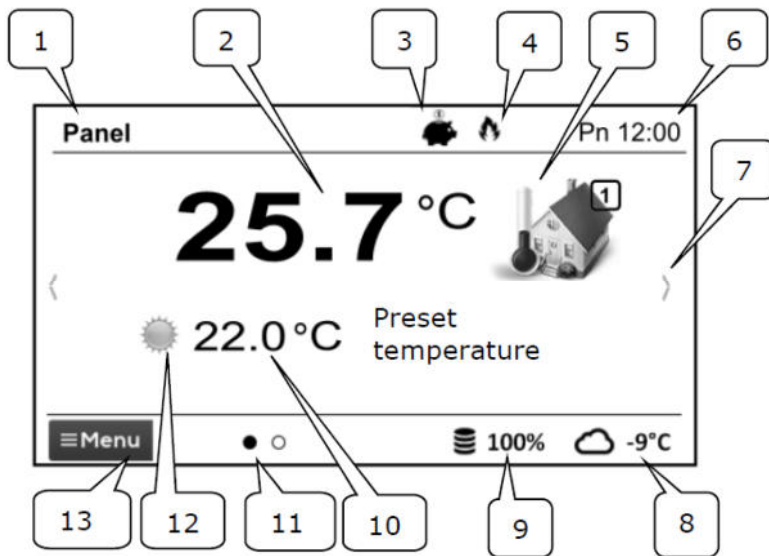
 : メニューの終了またはパラメーター値設定のキャンセルが出来ます。(戻るボタン)

 : メイン画面に戻ります。

 : パラメーターの値を確認して決定します。(確定ボタン)

 : 選択されたメニューの情報


8. 2 メインスクリーンの説明





1 : ユーザーが自由に決められる装置名


2 : 室内の実測温度

3 : ルームサーモスタットの運転モード


 スケジュール


 エコノミー : (ナイトモード)


 コンフォート (快適運転) : (デイモード)


 外出モード

 エアリング (空気の入れ替え)

 パーティモード

 ホリデイモード


 凍結防止モード


 給湯モード


4：稼働中のサーモスタットシグナル

5：選択された機器のシンボルマーク

 ボイラー

 ルームサーモコントローラー

 スクリーンが表示しているルームパネルの番号

 稼働中の給湯設備

6：曜日と時間

7：メインスクリーン変更ボタン

8：外気温（ウェザーセンサーをバーナー本体のコントローラーへ接続している場合のみ）

9：ボイラー内の燃料残量（設定している場合のみ）

10：現在のモードでの部屋の設定温度（これにタッチすると設定温度を変更出来ます。）

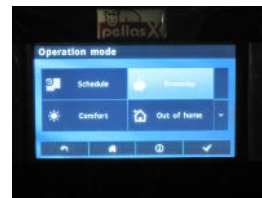
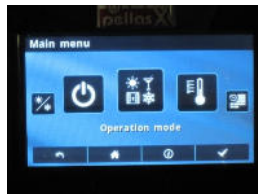
11：表示出来るスクリーンの数

12：設定されたモード（デイモードまたはナイトモード）その他の運転モードは3へ表示されます。

13：メインメニューに戻る

8. 3 操作モードについて

※モニター表示はバージョンによって異なる場合がございます。



Menu → **Operation made** → で運転モードを選択します。

8. 3. 1 Schedule スケジュール

設定された温度は時間スケジュールに従って対応されます。

 ナイトモード（節約）の設定温度または  デイモード（快適）の設定温度は下記手順にてセットします。

Temperature settings → Night temperature または Day temperature. を選択



スクリーンにスケジュールのシンボルが表示されます

8. 3. 2 エコノミー

コントローラーは常に設定された経済的溫度で運転します。溫度の設定手順は以下の通りです。

Temperature settings → Night temperature



スクリーンにエコノミーのシンボルが表示されます。

8. 3. 3 コンフォート (快適)

コントローラーは常に設定されたコンフォート溫度で運転します。溫度の設定手順は以下の通りです。

Temperature settings → Day temperature



スクリーンにコンフォートのシンボルが表示されます。

8. 3. 4 外出モード

外出モードは既に設定された溫度に対して最大 60 時間までナイトモードで運転します。溫度設定手順は以下の通りです。(ナイトモード設定時と同じ)

Temperature settings → Night temperature

外出モードの運転時間は 1 時間単位で最大 60 時間まで設定出来ます。外出モードが終了すると(設定時間が経過すると)、変更前の運転モードで運転します。



スクリーンに外出モードのシンボルが表示されます。

8. 3. 5 エアリング (空気の入れ替え)

このモードは最大 60 時間ボイラー本体のコントローラーからミキシングバルブや循環ポンプを OFF にする事が出来ます。長時間ハウスの扉を開ける時などに使用されます。

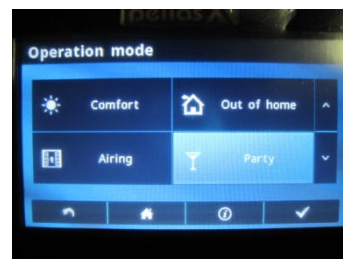
設定時間は 60 時間までの 1 時間単位で決めて下さい。設定時間が終了すると変更前の標準運転モードへ戻ります。



スクリーンには外出モードのシンボルが表示されます。

8. 3. 6 パーティーモード

このモードは最大 48 時間まで予め設定された溫度以外のパーティーモード設定溫度で運転出来ます。設定時間は 1 時間単位で設定して下さい。パーティーモードが終了すると変更前の標準運転モードへ戻ります。





Duration : 設定時間



設定したら✓で決定します。



スクリーンにはパーティーモードのシンボルが表示されます。

8. 3. 7 ホリデイモード

このモードは最大 60 日まで既存の設定温度でなく別の設定温度にてコントロール出来ます。長期間外出する時に便利です。このモードは始まるとホリデイモードの設定温度で運転します。設定する温度は 1 日単位で最大 60 日までです。設定期間が終了すると変更前の標準運転モードへ戻ります。このモードを設定すると自動的に給湯用のボイラーコントローラーは 8℃でコントロールします。



スクリーンへホリデイモードのシンボルが表示されます。

8. 3. 8 凍結防止モード

コントローラーは下記設定で一定温度で運転します。

Temperature settings → Antifreeze temperature

このモードはボイラーの温水温度設定を 8℃にして凍結を防止するモードです。



スクリーンへ凍結防止モードのシンボルが表示されます。

8. 3. 9 HUW モード

このモードは貯湯タンクを稼働させることが可能です。設定時間は 1 時間単位で最大 60 時間まで設定して下さい。このモードを選択すると貯湯タンク、循環ポンプはナイトモードで設定温度が低下するプログラムを停止します。

8. 4 スケジュールの設定方法

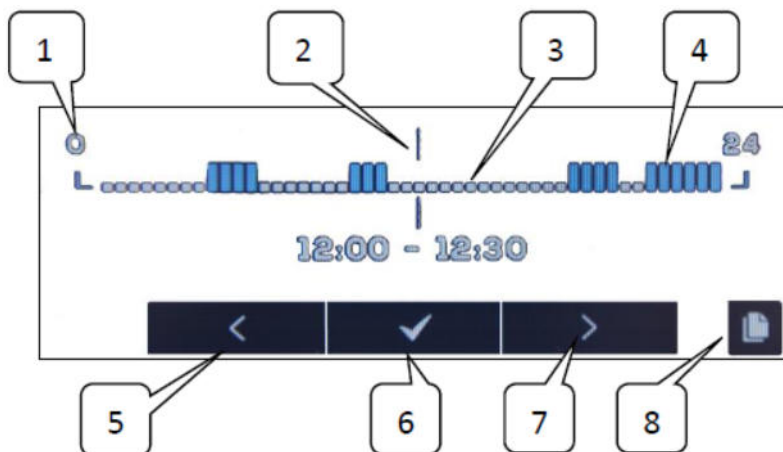


スケジュールメニューはルームサーモスタット、貯湯タンク及び給湯用循環ポンプの稼働をスケジュール出来ます。30 分毎に平日の時間スケジュールを設定出来ます。

(1 日で 48 回の温度変更が可能です。) 設定出来る温度は 2 つのモードのどちらかです。デイモードとナイトモードのいずれかです。スケジュールは下記メニューから設定します。

Menu → Schedule → ...

■設定または修正する曜日を選んで下さい。スケジュール画面が表示されます。



- | | |
|-------------------|---------------------|
| 1 : スケジュールスタートライン | 2 : 設定しようとしている時間ライン |
| 3 : エコノミー温度モード | 4 : コンフォート温度モード |
| 5、7 : 編集時間移動ボタン | 6 : 運転モード選択ボタン |
| 8 : コピーボタン | |

- 設定する時間ライン (2) をボタン (5) (7) でスタート時間を選んで下さい。
- ボタン (6) 運転温度 (エコノミーまたはコンフォート) を選択して下さい。
- 上記運転終了時間ライン (2) をボタン (5) (7) で移動して下さい。
- 移動したらボタン (6) を押すと決定します。
- 他の時間帯を設定する場合は同様に設定します。
- コピーボタン (8) を押すと、他の曜日に同じスケジュールをコピー出来ます。

8. 5 温度設定



下記モードの設定温度を変更出来ます。

- デイ (コンフォート) 温度
- ナイト (エコノミー) 温度
- 凍結防止温度

8. 6 ボイラー



ルームコントローラーが接続されているボイラーコントローラーにアクセス出来ます。

ボイラーコントローラーで入手できるパラメーターをプレビューや変更が可能です。

8. 7 HUW (給湯)



給湯の設定温度、運転モードを変更出来ます。

8. 8 サマー／ウインター



ボイラーの運転モードのサマー／ウインターの切り替えが可能です。

8. 9 ボイラーON/OFF



ルームコントローラーからボイラーの運転をON/OFF出来ます。



ボイラー、HUW、サマー/ウインター、ボイラーON/OFFはボイラーコントローラーと接続されている場合のみ可能な操作です。

8. 10 コントローラーのアラーム通知

ルームサーモコントローラーはボイラーコントローラーからのアラームを受取り表示させ、アラーム音を発します。アラーム音を止めるにはコントローラーをタッチして下さい。アラーム表示は消えません。これは安全上、ボイラーコントローラーにて解消します。

8. 11 セッティング



各設定は下記より設定します。

Menu → Settings →

8. 11. 1 ヒステリシス (温度差)



このパラメーターは区切られた時間の温度差を定義しています。設定温度が定義した温度差以下になった時ボイラーコントローラーはボイラーの運転を始動します。設定温度プラス温度差以上に達するとバーナーは SUPERVISION モードになり待機状態となります。(16 ページを参照下さい。)



8. 11. 2 温度補正



-4°C~+4°Cまでの範囲でサーモスタットにて測定された温度を補正する事が出来ます。

8. 11. 3 スクリーンの明るさ



スクリーンの明るさを 6時~22時、22時~6時の2種類変更する事が出来ます。

8. 11. 4 言語



ルームコントローラーの表示言語を変更出来ます。

8. 1 1. 5 ペアレンタルロック

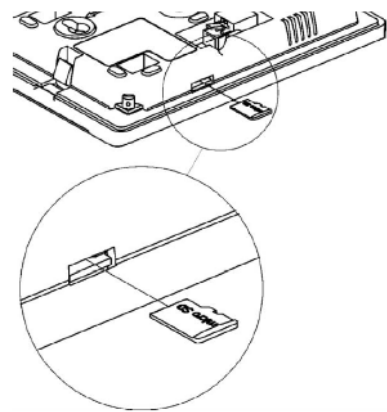


この機能は稼働停止数分後に表示されます。左のシンボルは時計の横へ表示されます。ロックを解除するのはスクリーンへ3秒ほど触れて下さい。

8. 1 1. 6 ソフトウェアのアップデート



マイクロSDHCメモリーカードにてボイラーコントローラーに接続されている全てのコントローラー、追加モジュール、ルームサーモコントローラーなどのソフトウェアをアップデート出来ます。



8. 1 1. 7 サービスセッティング



入力にはパスワードが必要になります。(1410)

■Hotel mode

この機器のメニューや他のルームサーモコントローラーのアクセスや編集が使用不可となります。ユーザーは基本設定のみ操作可能です。

■Visibility in other panels

この機能は他のルームコントローラーをモニターする事が可能になります。

■Restore default settings

初期設定に戻す機能です。

■Touch panel calibration

タッチパネルのキャリブレーションを調整出来ます。

8. 1 1. 8 サウンド



ボイラーコントローラーから送られてアラーム通知のアラーム音をON/OFF出来ます。

8. 1 1. 9 時計



現在時刻を設定出来ます。また接続されているコントローラーの時間と同期する機能を持っています。



時間の同期は時間差が10秒以上の場合に可能です。

一つのコントローラーの時間を変更すると他のコントローラーとボイラーコントローラーは時間が変わります。接続されたコントローラーは電源が入るとボイラーコントローラーから変更された時間を受け取ります。



プログラムされたルームコントローラーのスケジュールは内部のメモリーへ保存されるので、電源を切っても削除されません。

8. 11. 10 日付



現在の日付を設定します。日付が設定されると曜日は自動的に設定されます。時間の同期機能はここで機能します。時間の設定を変えると同期します。

8. 11. 11 パネル



コントローラーのアドレスと名前を設定出来ます。

■コントローラーのアドレス


アドレスを 1、2、3 のいずれかに設定出来ます。いくつかのコントローラーを接続している時は違ったアドレス（番号）に振り分ける事が可能です。



システムが正しく機能するように同じアドレスは使用しないで下さい。

■名前

ルームコントローラーへ名前を付けられます。例えばハウス 1、リビングルーム、屋根裏などこれはコントローラーの所在がはっきりします。他のルームコントローラーの名前はスクリーンで確認出来ます。

選択したルームコントローラーは  左記シンボルの様にアドレスナンバー（1、2、3）が表示され、名前はスクリーン上部へ表示されます。

8. 11. 12 無線モジュール

ルームコントローラーと無線モジュールのペアリングを実行できます。無線モジュールをメインコントローラーに接続した後、ペアリングモードパラメータを「YES」に設定します。これにより、ルームコントローラーと無線モジュールのペアリング機能が 4 分間開始されます。正しいペアリングは、ルームコントローラーの画面上のメッセージによって確認されます。

8. 11. 13 インフォメーション



ソフトウェアのバージョン情報はボイラーコントローラーおよび追加モジュールにて使用されます。

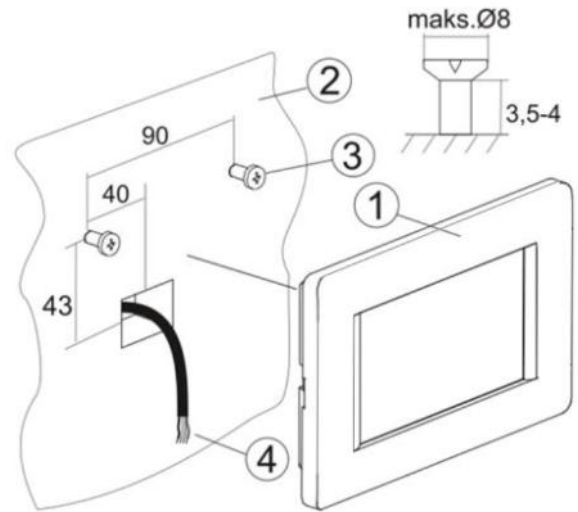
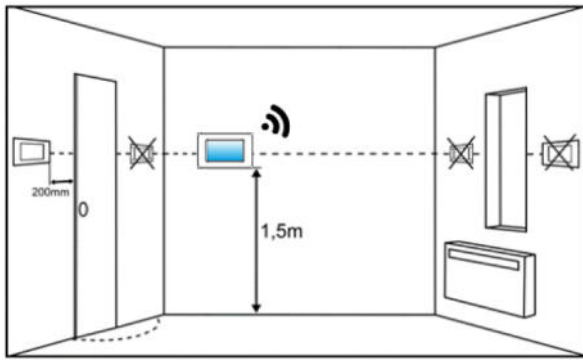


接続するルームコントローラーはメインのコントローラーと同じバージョンを使用して下さい。

9. ルームコントローラーの設置

最適な動作環境を確保するために設置場所は下記推奨事項に従って下さい。

- パネルは屋内の壁に設置して下さい。
- 測定温度の妨げとならない様に換気の悪い部屋、断熱性の高い部屋、窓際、暖房器具の近くは設置しないで下さい。
- ルームコントローラーは床から 1.5m の高さに設置して下さい。また下記のガイドラインに従って設置して下さい。



- 壁に穴をあけてネジで固定します。壁の材質に合わせて適切なネジを使用して下さい。ネジ穴のSPANはコントローラーの背面（90 x 43 mm）に設けられています。
- ルームコントローラーとその電源となるメインコントローラーまたは増設電源（DC アダプター）とを電線により電気接続（電源のみ）します。ワイヤーは同一平面上または壁に取り付けることができます。



住宅の配線を巻き込まないで下さい。強い磁場を発生させる場合があります。

10. メインコントローラーの電気配線

ルームコントローラーへは DC12V を供給して下さい。

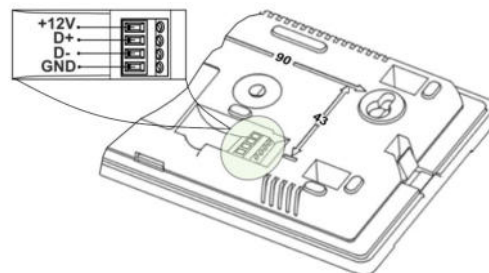


コントローラーは 5~12V を供給されることが出来ますが、配線の長さが長すぎると電圧が減少するので低い電圧はお勧めしません。

コントローラー背面のターミナルへ接続するケーブルは 30m 以下で断面積 0.5 mm²以上にして下さい。

ルームコントローラーがメインコントローラーと有線で接続されている場合、無線機能は停止します。

配線のターミナルはパネルの背面にあります。




ターミナルへは正しく接続して下さい。
間違った接続は機器へ損傷を与えます。

ルームコントローラーとメインコントローラーを無線で通信する場合は 11 項を参照して下さい。



無線通信の場合はルームコントローラー用の電源が必要になります。


これを行うには、12V/DC 主電源アダプターを使用します。0.5 A。正しい極性で部屋のパネルのコネクタに接続する必要があります。ルームコントローラーは、ポイントに従って接続する必要があります。2 線ケーブルを使用して、メインコントローラーソケットから直接電力を供給できます。なお、図 12 では、D+信号とD-信号の接続を省略しています。

 ルームパネルの電源は住宅のコンセントからアダプターを介して接続可能です。日本場合、CタイプをAタイプへ変化するコンセントアダプタを用意して下さい。

11. 無線モジュール

11.1 無線モジュールとメインコントローラーとの接続

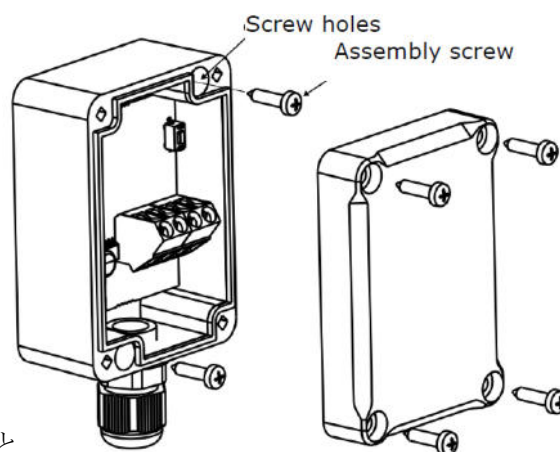
無線モジュールは、出るだけメインコントローラーの設置場所の近くの壁に取り付ける必要があります。無線接続状態が悪い場合は、モジュールを別の場所に配置してみてください。モジュールを数センチメートル動かすだけでも、接続の品質に影響を与える可能性があります。

 モジュールを金属ケース等で覆うと電波が届きにくくなります。

無線モジュールは、取り付けネジを使用して壁にネジで固定する必要があります。

このモジュールのカバーを緩めた後、組み立てネジ用の穴にアクセスできます。

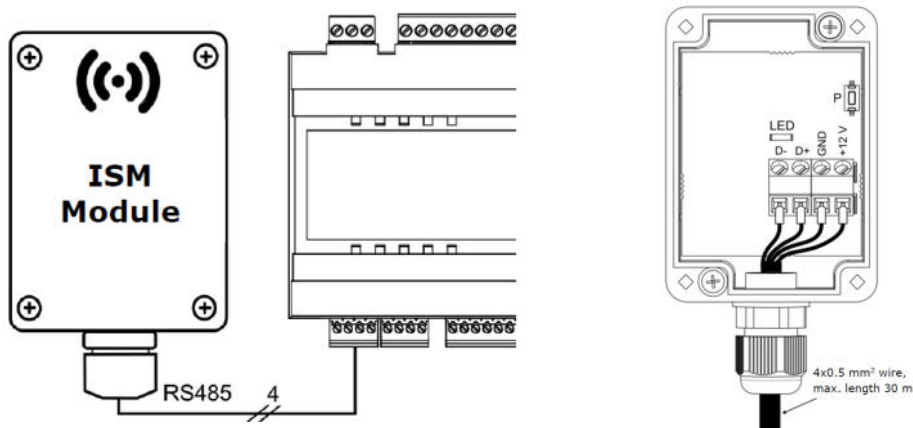
無線モジュールの端子 D+、D-、GND、12 VDC は、メインコントローラーの RS485 送信ソケットに接続する必要があります。



送信と電源を接続するときは、無線モジュールとメインコントローラー間の D+、D-、および GND、12 VDC の接続の正しい極性に注意を払う必要があります。接続を誤るとメインコントローラーの破損や誤動作の原因となります。



コントローラー背面のターミナルへ接続するケーブルは 30m 以下で断面積 0.5 mm² 以上にして下さい。



11.2 無線モジュールとルームコントローラーのペアリング

メインコントローラーと無線モジュールが接続されたら無線モジュールとルームコントローラーとのペアリングが必要となります。

<メインコントローラーの操作でペアリング>



ペアリングはメインコントローラーのプログラムと無線モジュールが互換性のある場合のみ可能です。(後付けの場合は要確認)

メインコントローラーのメニューに入ります。

MENU → General settings → Radio module → Pairing mode → Device pairing mode

Start pairing? (ペアリングを開始しますか?) 「はい」にすると、ペアリングモードが4分間有効になります。この間、8.11.12項に従って、無線モジュールを備えた部屋のパネルをペアリングする必要があります。この4分間の間に他のルームコントローラーもペアリングする事が出来ます。ルームコントローラーと無線モジュールのペアリングが完了したらメインコントローラーでメニューを終了するか4分経過すれば終了となります。

メインコントローラーの情報メニューでルームコントローラーとの無線接続を確立すると、パネルはルームコントロールラジオ TOUCH として表示され、ソフトウェアのバージョンが表示されます。



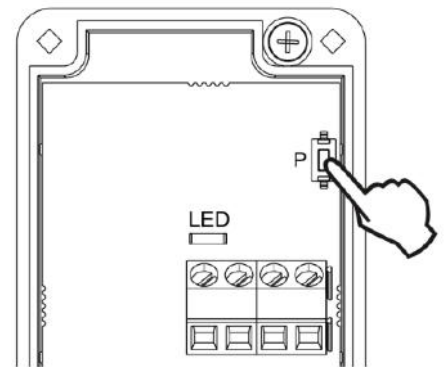
ルームコントローラーが既にペアリングされている場合、無線モジュールをメインコントローラーへ再接続しても再びペアリングする必要はありません。

<無線モジュールからのペアリング>

メインコントローラープログラムと無線モジュールの互換性は限られているため、無線モジュールのPボタンを使用してペアリングモードを開始します。このボタンを1回短く押す必要があります。すると、LEDが点滅し始めます。これは、ペアリングモードが再開されることを意味します。4分間有効になります。

現時点では1つのルームコントローラーのみをペアリングする必要があります。ペアリングが終了したらボタンPを押すか、

4分間待って下さい。メインコントローラーの情報メニューでルームコントローラーとの無線接続を確立すると、パネルはルームコントロールラジオ TOUCH として表示され、ソフトウェアのバージョンが表示されます。



Pボタンによるペアリング方法は、ラジオモジュールプログラムがメインコントローラーと完全に互換性がある場合にも使用できます。

11.3 無線モジュールのペアリングをリセットする

無線モジュールは、ペアリングされたワイヤレスルームコントローラーに関するデータをメモリーへ保存するため、ルームコントローラーのパネルを交換した後は、メインコントローラーメニューのパラメーターを設定して無線モジュールのメモリーをリセットする必要があります。

MENU → General settings → Radio module → Pairing mode → Deleting paired devices = Yes.

また、無線モジュールのPボタンを約8秒押しでもメモリーリセットできます。ペアリングメモリーの削除の確認は、Pボタンを放した直後にLEDが一瞬消灯することです。




無線モジュールをリセットした場合はルームコントローラーを再びペアリングする必要があります。

11.4 無線モジュールと複数のルームコントローラーとの接続

メインコントローラーと複数のルームコントローラーとの接続は無線モジュールプログラムがメインコントローラーと互換性がある場合に限りです。メインコントローラープログラムが無線モジュールと完全に互換性があるかどうかを確認するには、メインコントローラーメニューのタブを選択します。

MENU → Information → Programs versions


ISM 情報が表示されている場合、表示されているバージョンのプログラムでは、無線モジュールは最大3つのルームコントローラーで動作しますが、情報がない場合、無線モジュールは1つのルームコントローラーのみで動作します。別のルームコントローラーと完全に連携できるかどうかを確認するには、メインコントローラーのメーカーに問い合わせてください。メーカーは、この連携が確実にできるようにメインコントローラーのソフトウェアを更新できるかどうかを判断します。

 無線モジュールは最大3台のルームコントローラーと接続出来ます。

ルームコントローラーと無線モジュールを正しくペアリングするには、8.11.11 項に従って、各ルームコントローラーに個別のアドレスを設定する必要があります。

建物の構造要素、部屋のレイアウトと設備、電子機器の量、無線モジュールの設置場所とルームコントローラーとの間の距離は、受信無線信号のレベル (RSSI) に影響を与えるため、選択する際にはルームコントローラーを設置する場所は、選択した場所で取得される信号レベルを考慮してください。電波強度の値は、

MENU → Settings → Information

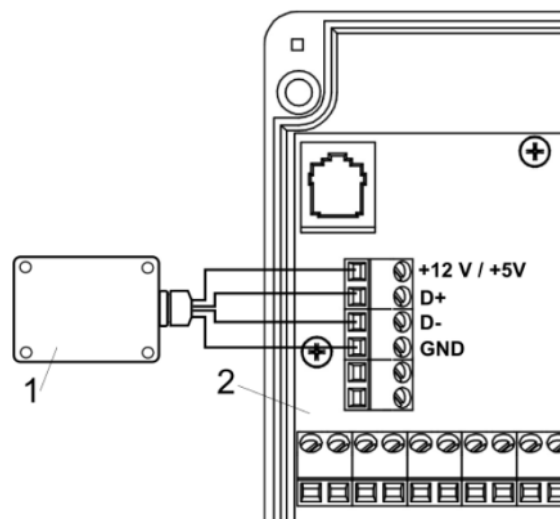
 ルームコントローラーへの無線接続が失われると、メインコントローラーは数分後にルームコントローラーなしの動作モードになります。

11.5 選択したメインコントローラーに無線モジュールを接続する

無線モジュールをメインコントローラーへ接続する場合は下図の通りです。

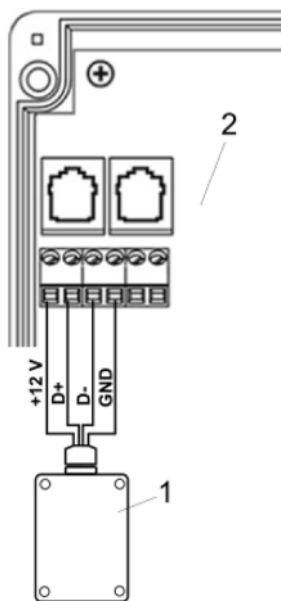
RCONTROL 890、891、892、
SCONTROL 892 へのモジュールの接続:

- 1- 無線モジュール
- 2- メインコントローラー



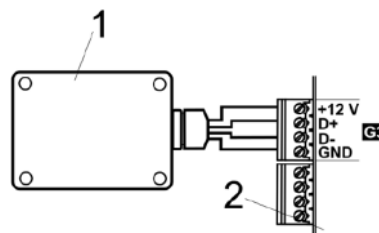
SCONTROL MK1 へのモジュールの接続:

- 1- 無線モジュール
- 2- メインコントローラー



SCONTROL 910 へのモジュールの接続:

- 1- 無線モジュール
- 2- メインコントローラー



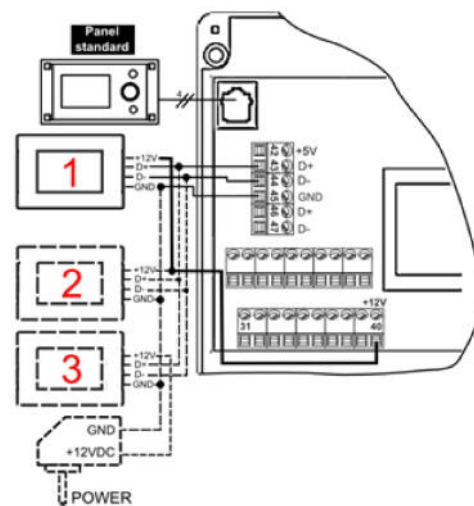
1 2 ルームコントローラーとメインコントローラーの有線接続

ルームコントローラーとメインコントローラー間で有線 RS485 伝送信号を送信する場合、ルームコントローラーは無線伝送を使用しません。以下に無線モジュールを介さずに直接接続する方法を紹介します。

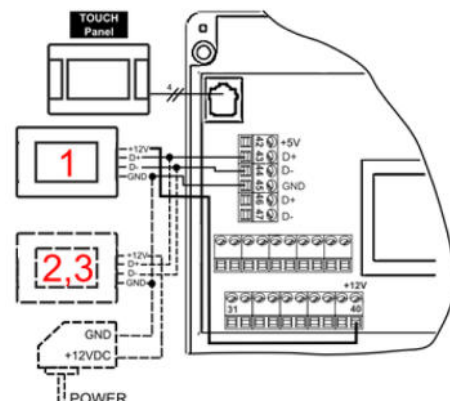
RCONTROL 890、891、892、SCONTROL 892 との接続

コントローラーモジュールは最大 2 台の TOUCH パネルを追加する事が出来ます。

メインコントローラーに標準コントロールパネル（ノブ付きバージョン）が装備されている場合、2 つのルームパネルにコントローラーモジュール（端子 40）から直接電源を供給できます。3 番目のパネルには、追加の電源アダプター 12 VDC/min 0.5A から電力を供給する必要があります。

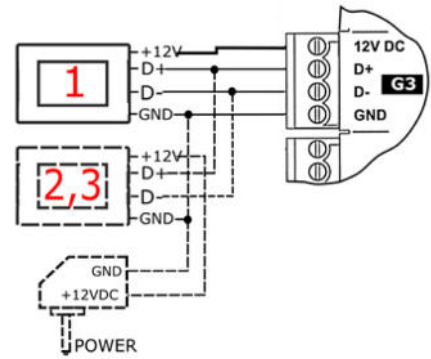


メインコントローラーに TOUCH コントロールパネル（タッチパネル色付き）が装備されている場合、コントローラモジュール（端子 40）から直接供給できるルームコントローラーは 1 枚のみです。パネル 2 と 3 には、追加の電源アダプター 12 VDC/min 0.5A から電力を供給する必要があります。



SCONTROL 910 との接続

メインコントローラーに標準コントロールパネル（ノブ付きバージョン）または TOUCH コントロールパネル（タッチパネル付きカラー）が装備されている場合、コントローラモジュール（ソケット G3）から直接供給できるルームコントローラーは1つだけです。2つのパネルには追加の電源アダプター12VDC/min 0.5Aを使用して電源を供給する必要があります。



1.3 テクニカルデータ

供給電源：5～12VDC／外部電源またはメインコントローラーソケットより

無線モジュール電源：5～12V DC／メインコントローラーソケットより

ルームコントローの電流（12VDC時）：0.15A

ルームコントローラー／無線モジュール保護クラス：IP20／IP40

相対湿度：5～85%（結露しない状態）

ルームコントローラー、無線モジュール動作温度：5～35℃

ルームコントローラー、無線モジュール保管温度：-10～60℃

通信：双方向 ISM 無線通信

周波数帯：ISM 868 MHz(865～868 MHz)

ルームコントローラーと無線モジュールの送信電力：20 mW (+13 dBm)

無線ネットワークトポロジー：1つの無線モジュールと多数のルームコントローラー

ディスプレイ：480 x 272pix グラフィックとタッチ操作

サイズ：ルームコントローラー148 x 97 x 23mm 無線モジュール 70 x 50 x 7.7mm

重量 ルームコントローラー／無線モジュール：0.2kg／0.16kg

適合規格：PN-EN 60730-2-9、PN-EN 60730-1

ソフトウェアクラス：A

セット構成：ルームコントローラーと ISM 無線モジュール。

1.4 輸送と保管について

ルームコントローラーと無線モジュールは、大気条件の直接的な影響、つまり雨や太陽光線、道路輸送中の通常よりも高い振動にさらされてはなりません。保管および輸送時の温度は -10～60℃を超えないようにしてください。

<運転モードの例>

設定温度:20℃、ルームコントローラーメインメニューの Setting の Hysteresis (温度差):0.5℃
を設定した時

室温が $20^{\circ}\text{C}-0.5^{\circ}\text{C}=19.5^{\circ}\text{C}$ 以下の時バーナーは燃焼しようとしています。

(バーナーは既に ON になっている状態の時)

Firing up モードです。

室温が $20^{\circ}\text{C}+0.5^{\circ}\text{C}=20.5^{\circ}\text{C}$ 以上になると SUPERVISION (待機状態) となり設定された時間の間は
最小出力で燃焼します。

①SUPERVISION 設定時間経過後室温が 19.5°C 以下に低下しない間は

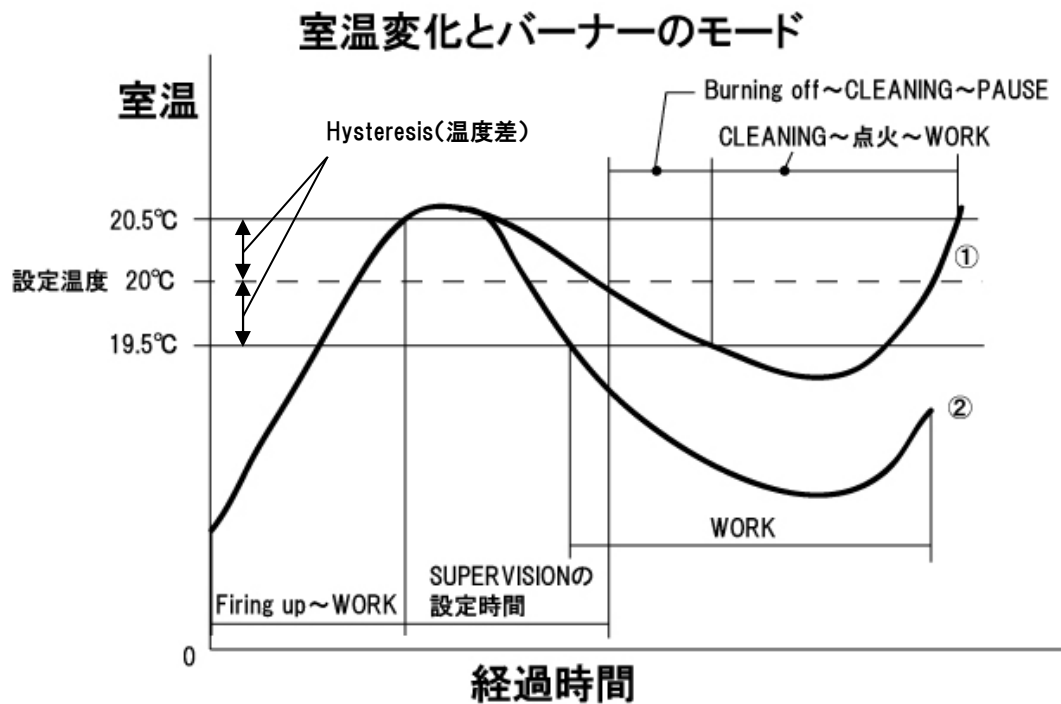
Burning off>CLEANING>PAUSE 状態になります。(消火して待機)

上記で室温が 19.5°C 以下になると

CLEANING>Firing up>スタビライゼーションを経て WORK モードに戻り燃焼を続けます。

②SUPERVISION 中に 19.5°C 以下に低下した場合

最小火力で燃焼しているので WORK モードへ移行して燃焼を再開します。



※Burning off、Cleaning モードの時は設定時間を経過しないと次のモードへは移行しません。